

明日に 向かって

明日に向かって

多治見陶都ライオンズクラブ

広 報 誌

2001

13

Vol.



4月22日 笠原への移動花見例会にて



1年間ありがとうございました。



会長
L.加藤 照男

光陰矢のごとしと申しますが昨年7月「ゴメン今日は例会です。もっと知ってよライオンズ」をスローガンに船出をしましたが、あっと言う間の1年間でした。例会・理事会各行事におけるメンバーの出席率もよく本当にスムーズにクラブ運営がやって来られました事をメンバー全員の皆様に心から感謝いたしております。



この1年間振り返ってみますと各委員会の皆様の努力によりいろいろな行事を行ってまいりましたが、中でも笠原保育園にどんぐりの木の植樹に行ってきた時、あの園児達が天真爛漫な天使のような笑顔で「どんぐりころころ」の歌を唄ってくれた姿が今でも目に浮かびます。又、計画委員の皆様の努力により和具に行つての移動例会、そしてグリーンハイツでの野外例会には多数のご家族にも参加して

いただきゴルフそしてバーベキューと本当に楽しい一日を過ごしました。いよいよ加藤恵一丸10周年に向けての出航となりましたが役員及びメンバーの皆様方の活気ある御活躍を期待しております。

最後に1年間にわたる皆様方の御協力に心より感謝し御健勝と御多幸をお祈り申し上げます。ありがとうございました。



1年間宜しくお願いします。



次年度会長
L.加藤 恵一

多治見陶都ライオンズクラブ10年目の会長に推挙され、大変光栄に思うと共に、大きな責任を感じ身の引き締まる思いです。

早いもので、ライオニズムとは何かとも知らず、藤田会長のもと全員がチャーターナイトの成功を目差した姿が思い出されます。

全く面識のなかった人達が集い、友情を深め、アクティビティーを共に行える。本当に素晴らしいことと思います。

さて、21世紀をむかえ、10周年記念を更なる飛躍の礎として、8年間継続してきた環境問題作文コンクールなどを含め、多治見陶都ライオンズクラブらしい、求められるアクティビティーを、地域と共に考え行動して行きたいと思います。

もう1つの課題はPR活動です。私達のアクティビティーを地域の人達に知ってもらい、参画して頂くことが極めて重要な事と思います。

更に、次年度は当クラブとして初めて、リジョンチェアマンとして、L.小芝邦章、4名の地区委員を輩出します。全員が協力して盛立てて行こうではありませんか。

浅学非才な私ですが、どうか皆様の熱い友情のもと、1年間の重責を全うしたいと思います。どうか宜しくお願いいたします。



2月2日

チャーターナイト記念例会
多治見高砂殿にて

奉 仕・P R



2001・7～2002～6
334-B地区 第2R

RC
L.小芝邦章

この度、皆様のご推挙により、334-B地区第2Rのリジョンチェアマンをお受けすることとなりました。その重責を思いますと身の引き締まる思いがいたします。全力を尽くして努める覚悟でございますので、よろしくお願い申し上げます。

リジョンチェアマン不要論の中、334複合地区では、存続が決定され、今日に至っております。

リジョンチェアマンは、地区ガバナーの補佐役であり、地区ガバナーの基本方針をよく理解し、その意向を各ゾーンチェアマン・各地区委員と協力しながら、リジョン内に浸透させると同時に、各クラブ会員の意見をゾーンチェアマンとともにキャビネットへ伝え、334-B地区の発展と、ライオニズムの高揚に努めるべきであると考えます。

本年度は、三重県の名張LCがキャビネットということで、岐阜県としては、第1RのRC L.加藤公一と協力し、キャビネットの意に添えるよう努力する所存であります。

ライオンズクラブの原点は、奉仕活動にあることは言をまたないわけですが、PR活動にも力を入れたいと考えます。各ゾーンチェアマン・各クラブ会長様におかれましては、機会あるごとにマスコミを活用していただきたいと存じます。

ライオンズクラブとは何たるや？

この疑問に回答できるべく、奉仕活動・PR活動に情熱を傾注していただきたく思っております。

1年間という限られた期間であります。メンバー各位の温かいご理解・ご支援を賜りますようお願い申し上げ、私の挨拶といたします。



We Serve

334-B地区スローガン(2001～2002年)

ひら
“ウィ・サーブ英知で開拓こう新世紀”

10周年に向けて。



10周年記念実行委員長
L.山内正勝

早いもので私ども多治見陶都ライオンズクラブもいよいよ10周年を迎えることとなりました。この10年間、世界の変化はかつてないものでした。コンピューターや半導体の世界はドッグイヤーだとよくいわれます。犬の寿命は長くて15年犬は我々の7倍の早さで人生？を駆け抜ける。今の世界も犬につきあったのでしょうか。この10年クラブはドッグイヤーとは無縁でした。しかし慣れがでて懸命さをいつの日にか忘れ去った様に思います。10周年の主題は“環境と青少年育成”ですがこれらは私達のクラブが継続的に取り組みをした事柄です。環境問題は当時さほど一般には認知されていない事柄でした。これを機会に我々の先見性と一貫性を訴え、これに“初心に帰る”を添えて全員一致で陶都ライオンズらしい心に残る記念事業としていこうではありませんか。物質的繁栄のあとにくるものそれは心の時代でしょうか。10周年では心をこめてお客様をお迎えしようではありませんか。

多治見陶都ライオンズクラブ 10周年記念行事執行委員会組織図



我が家のハッピーバースデー

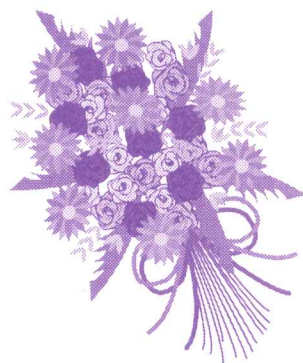
L. 若尾敬一郎の奥様
若尾麗子さん

今年は結婚25年を迎え何か節目の年と感じていました。そんな時誕生日で花をもらって嬉しかった事を何か書いてほしいと依頼がありました。が何年も書くという事を忘れていました。

主人、子供の誕生日にはささやかな、お祝いを家でやったり店へ出掛けたりしましたが自分の事となるとてれくさいので今日で何才になったと家族に自己申告で終わりです。

主人がライオンズに入会して以来毎年素敵な花が届けられるようになり、やっと自分の存在が認められたようで玄関の一番目立つ処に飾らせてもらっています。

花はどんな時にもらっても心がなごみます。又、今年の誕生日には思いもしていなかった花束、鉢植が友達から届きびっくり。そして母の日には遠くに住んでいる次男のガールフレンドが鉢花のプレゼントを届けてくれて涙が出る程嬉しく思いました。主人からは今年は大きなプレゼントがありました。大事に使おうと心の中で感謝しています。毎年、誕生日の花のプレゼントの企画本当にありがとうございます。ずっと続く事を楽しみにしております。



誕生日にお花をいただいて

L. 長谷川幸生の奥様
長谷川厚子さん

“誕生日”は、我家では、子供の為には少しばかりのお祝いをするのですが、大人に関してはしていません。

主人も娘達も私の誕生日の事は全く頭がないと思います。主人が私の誕生日のお祝いをしてくれたのは、はるか昔(?)の結婚してすぐの誕生日だけだと思います。昔から「釣った魚にえさはやらない。」とはよく言ったものですね。

年令を重ねることもうれしくなくなった最近ですが、陶都ライオンズから、美しいお花を贈っていただき恐縮しております。私の誕生日を気にかけていただいた人がいると思うと本当にうれしく思います。

誕生日を迎える毎に、一年間健康で暮らせたことを感謝し、これからの一年間も幸せに暮らしたいと願っています。すてきなお花をありがとうございました。

環境問題に取り組んで8年

保健環境保全委員会
L.加藤 幸司

環境問題作文コンクールも、今年で、第8回となります。多治見陶都ライオンズクラブ結成以来、我々は、環境問題に取り組んでまいりました。以前までは、委員会が、中心となり、作文の依頼から、作文の選考をして来ました。今回は、私の思いで、「もっと皆様に環境問題に取り組んで欲しい」と思い会員の皆様に協力して頂きました。

各委員会に、平均10作品の中から、2作品の選考を依頼しました。今回は、会員の皆様が、以前より環境問題を身近に感じて頂けたのではないかと思います。

最後に、よりよい地域環境を守る為、また人と環境が共生する生活をする為、また豊かな地域環境となる為、全員で、今以上に、真正面から、環境問題に取り組んで行ける様、皆様のご理解とご協力を、お願いしたいと思います。

『笠原町青少年育成へ』

教育社会福祉委員会
L.水野 忠男

今年は加藤会長の元で教育社会福祉委員会を引き受けました。前々から加藤会長さんが笠原町へのアクティビティーが少ないのではないかとこの意見があり青少年育成に予算をいただきました。笠原町教育委員会と相談した結果、笠原小学校、中学校ともに学校祭体育祭各学校行事に必要な「アルミ製多目的ひな段」がいただきたいとの申し出に加藤会長さんも賛同いただき2月2日チャーターナイト例会で学校活動に役立てていただく様、笠原町教育委員長に贈呈しました。9年間皆出席表彰は多治見中学校、北陵中学校、平和中学校、南ヶ丘中学校、笠原中学校、合計25名の表彰も無事終了しました。協力いただいたメンバーの皆さんに感謝！感謝！



ライオンズクラブに想うこと

会員会則委員会
L.若尾 円三郎

2000年度の陶都ライオンズ加藤照男丸で出航しました。ゴメン今日は例会です。と もっと知ってほしいライオンズの二つのスローガンの元に出発です。

会員会則委員長を仰せつかり一年が過ぎました。

会員の増強をどうしたらいいかと心をいためております現在まで入会者ゼロです。それどころか大勢の退会者が出たことが今年度の特色かと思えます。不本意な1年間でありました。いろいろな要因があると思われませんが、まず第一に今の経済情勢の中で会社の経営が今一つというのは誰でも同じでライオンズクラブでの活動が重荷であったのか、第二にライオンズクラブ精神の欠落であったらどうか？

ライオンズと呼ばれる人の一節に事業を成功に導き善良な生活を楽しみ常に微笑みをたたえ人類を愛し知識人の尊敬を集め、幼児たちに親しまれる人とあります。今一度ライオンズ必携を一読してみたらどうでしょうか。

スローガンのもっと知ってほしい。ライオンズが活動的であって魅力のあるライオンズであれば自信を持って会員増強につながります。1年をかえりみればゾーンの会員会則委員会に出席して各クラブの会員増強方法を聞いて勉強してきたことはいいけれど、実践がともなわずに会員は減る一方でした。クラブの例会の出席率も悪くなってきております。今後クラブの和を第一に考えて、退会者がでないようにしていかなければならないと考えます。

頑張れ Y E 交換生

Y. E 委員会
L.加藤 和正

私がヨーロッパを訪ねたのは早いもので10年も以前の話になります。異国の文化、芸術に感嘆の声を思わず洩らした記憶は悲しくも波が静かに引如くです。我々の子女が若い時に異国の文化に触れることは大いに意義の有ることと私は信じて疑うことは決して有りません。

我らメンバーが協力しあってより多くの若者を海外に送ってあげようではありませんか！なぜならこれからの日本は彼らが作り上げてゆくのですから。

